

ふき た さ と 吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円
振込先/00980-3-28845 NPO法人すいた市民環境会議事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目-8-28, 705/TEL & FAX 06-6386-9491 中村小夜子
ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/古谷啓伸

6月8日 メダカの田んぼで恒例の田植え

今年は山三地区公民館
が講座を兼ねて、23人
が田植えをしました。
(写真右)



田植えの後は、メダカ
とりや藻の団子づくり
などに夢中になりました。
(写真下)



省エネルギー、がんばってます 8頁

秋の七草^謡しをしませんか 2頁

法人会員紹介 (株)近畿シビルコンサルタント 4頁

/// ホームページのアドレスが変わりました。 ///

題字の下に記載しています。 ///

理事会

毎月第3土曜日に市民会館で1時30分から行なっています。理事でない方も
お気軽にご参加ください。

総会後のオークションの売上18,600円

5月18日に第3回総会を開催し、出席者数は正会員28、購読会員3、委任状56でした。質問は千里丘の野生のキツネへの取組みと、NPOに認可されたことで生じた苦勞にどのようなものがあるかでした。議案はすべて出席者全員の賛成で承認されました。

総会後の親睦会るとき家庭から不用品を持ち寄ってオークションをおこない、売上金18,600円を会計に繰り入れました。物品数は21個で、最高の値がついたのは男性用本革カバンの3,800円でした。
(中村小夜子・事務局長)

秋の七草を探しませんか

(吹田市春日地区を歩く)

平 軍二 (生き物委員会)

生き物委員会では02年度～03年度の生き物調査のテーマとして

吹田版「春の七草・秋の七草」

の調査を計画しています。

昔から言われてきた春の七草・秋の七草で吹田市内に現存する植物が少なくなっているため、吹田市独自の七草(調査はもっと増やし十草 or 二十草)になるかもしれません。02年度はこの吹田の七草を決めるための事前調査を実施し、本調査は03年度に行なう予定です。

吹田市内にどの秋の七草があるかを確認するために、吹田(千里丘陵)の原風景が残っている春日地区を歩きます。

植物に興味のある方、今後の調査にご協力頂ける方の参加をお待ちしています。



日時 8月31日午前9時30分～12時

場所 北大阪急行桃山台駅西側出口広場 (バス停のある所)

内容 春日地区の田畑や春日神社周辺の林で、秋の七草+アルファを探す

会費 300円

留意点 残暑の厳しい季節なので、日よけ帽子など暑さ対策は充分に

雨天中止 問い合わせ先090-8375-0647 (中村小夜子)

美浜原子力発電所の見学案内

11月30日(土)

参加費 2500円(昼食代込み)

昼食は民宿で、新鮮市場で買物も予定

募集人数 40人(先着順)

吹田着は18時の予定

集合 7時50分 市役所玄関

詳細問い合わせと参加申込は中村小夜子さんまで

8時00分 阪急山田駅

TEL 090-8375-0647

セイタカアワダチソウを食べたよっ

晴天に恵まれたゴールデンウィークの初め、4月28日(日)、メダカの田んぼで「春の七草を食べよう」の催しがありました。田んぼのまわりに生えている草のうち、食べられるものを摘んでその場で調理して食べました。

メニューは、セリのごま和え、ヨメナのごま和え、ノビルの酢味噌和え、タンポポのベーコン炒め、セリ粥、ヨモギのホットケーキ、レンゲのホットケーキ、そして各種てんぷら。

天ぷらの種はヨメナ、ハハコグサ(花)、ミゾソバ、オオバコなど。食べられる野草はほとんどが、天ぷらにできます。

当日の人気メニューナンバーワンは、なんといってもセイタカアワダチソウの天ぷらでした。誰もがセイタカアワダチソウが食べられるなんて思ってもいなかったことで驚き、次に味が…あくもなく、少し香りがあった…おいしい！ 天ぷらを揚げていた人の技術もなかなかのものでした。ナンバーツーはヨモギのホットケーキ。ホットケーキの素にヨモギを入れるとは、なんと簡単なこと。

七草粥をしようと用意したお粥に入っただけでしたが、味は家でも作ろうと思うほどおいしかったです。

昨年の「スイタクワイ収穫祭」に引き続き現地での試食会は楽しく、おいしく、ためになり食糧難になっても生き延びる自信がついた一日でした。

〔小田信子・ピオトップ委員〕

(吹田市だと1時間で食べ尽くして、すぐ食糧難になると思うけどな、とは編集長のつぶやき)



メダカの田んぼ

6月5日、佐井寺中学校の生徒10人が環境講座の授業の一環でスイタクワイを植えました。

千里丘につづいて、紫金山公園にも野生のキツネが生息

5月3日朝7時過ぎ、会員の高桑常子さんが紫金山公園の尾根でキツネを見ました。その後、公園で早朝にラジオ体操をする人とか犬連れで散歩する人からキツネに出会うという証言、また公園の脇に住む人が少なくとも7年前にキツネを確かに目撃したという証言も得られました。

そして、ついに6月24日朝5時50分頃、五

月が丘に住む会員の熱田克子さん、佐藤和子さん、喜田久美子さんの3人が公園の尾根でうわさのキツネさん2匹に会いました。散歩の犬と追っかけごっこをしたり、餌をまくと出てきたりついてきたりと交流があるようです。キツネもカメラを持った3人をじっと見つめていたそうです。

〔古谷啓伸・編集長〕

つな 未来に繋げ豊かな地球

株式会社近畿シビルコンサルタント

「すいた市民環境会議」のメンバーには、法人会員が数団体おられる。その法人の仕事のこと、環境会議に寄せる思いなどを知りたいと、江坂駅に近い株式会社近畿シビルコンサルタントを訪れた。

『あろく吹田／観光マップ』の作製には近畿シビルコンサルタントのスタッフの協力があった。会員が集めた資料を地図にし、見やすく纏めるプロの力が大きかった。

お会いしたのは、常務取締役・大塚光二さん。

お聞きしていると、各委員会の名称がお話のなかに出てきて、日頃関心を持って見てくださっているのだなという印象が強く、我々に寄せておられる気持ちを書きもらしたくないと、大塚常務ご自身に認めていただくお手数をお願いした。

〔岩溪恭子・会報委員〕

株式会社近畿シビルコンサルタントは、建設関連事業に対してあらゆるサイドからのサポートやアドバイスを行う『建設コンサルタント事業』を主体とした会社です。

専門の学校や大学で学んだ知識を生かして、法令による免許、国家資格（技術士・測量士・土地家屋調査士等）を持つ人達が活躍しています。

仕事の内容は、都市計画・土地区画整理・再開発・上下水道・道路・河川・公園・農業土木に関わる計画、設計です。また、この様な計画に必要なデータ取得や管理が必要となるので、調査（環境調査・地質調査）や測量（地上・航空写真測量）、IT関連（システム開発・データベース入力）や補償業務、施工管理、人材派遣 etc を併せておこなっています。

〇【すいた市民環境会議】に入ってください たきかけは？

バブル期にリゾート開発・ゴルフ場開発や住宅開発等に関わってきて、自然環境の破壊の一端を担った負い目を感じています。その後は、当社の業務を通じて地球に恩返しをしたい思いで「未来に繋げ豊かな地球」をスローガンとして、名刺を始めあらゆる書類に印刷して、全社員に意識してもらっています。

地球温暖化が問題になり、『京都議定書』以降から、だんだんと環境保全の気運は高まっていますが、当時は、経済（エコノミー）と環境保全（エコロジー）は相反するものとして捉えられており、建設コンサルタントの立場から環境保全の意見を出しても、事業採算性重視の面から一蹴されていました。また、コンサルタント会社の社員も行政マンの言うとおりに仕事をおこなっていたら良かった時代でした。（欧米で

は、行政よりコンサルタントの立場が上なの
ですが、日本の場合は立場が逆の状態です。

環境保全配慮にと言う当時の思いを、何か
に活かすことができないかと考えていた時、
4年前に、吹田市役所の某人に【すいた市民
環境会議】の存在を教わりました。

いまでは、法人会員とは別に社員も数人です
が購読会員になっています。

○ 現在の活動内容についてのご意見を…辛口 でお願いします。

”吹田の郷”やホームページで活動内容を
確認していますが、それぞれの活動は多岐に
渡っていて素晴らしい活動だと思います。た
だし、委員会や活動毎に「日時」と云うし
ばりがあるので、どうしても特定の人達で
ないかと参加できない状況ではないのかと
推察いたします。

不特定多数の方々が参加できる仕組み
(もう少しHPの活用等)をつくり、広く
環境保全意識の底上げ活動の方向にも
力点をおかれて、実践されることを
望みます。

○ こういう企画があればと思われるものは？

環境省で認定しています『こども葉っぱ
判定士』というのがあります。娘が
中学2年の夏休みに取得しました。

小学生・中学生が対象となっていますが、
木の種類・大きさ・高さを調べ、その
木によって二酸化炭素吸収量を算定
するものです。調査や計算は簡単で、
こども達(または家族と一緒に)が
おこなって、その家や地域がどれ
ほど地球温暖化対策に貢献できている
か、また、温室効果ガスを発生する
ものが身近にどれほどあって、緑を
増やす(壊す)ことによる影響が
どの程度のものか？

ということを知るうえで非常に面白い方法だ

と感じました。

吹田市役所も、ISO14001(環境
ISO)の認証取得をおこなわれたと
聞きました。また、市長も吹田市
内の建物屋上に緑を増やす計画
を持たれていると聞いています。
行政も環境保全に対して積極的
な取り組みを展開されており、
大変素晴らしいことと思います。

一方、吹田市内には積極的に環境
問題に取り組み、配慮された大
きな企業が沢山あると思いま
す。もう少し、このような先駆
者(専門分野)である企業の方
々の意見を聞かれる機会を創
られるか、入会してもらう活
動も必要ではないかと感じま
す。…NPOの特殊性から、法
人会員が増えると問題になる
ならば別ですが？…

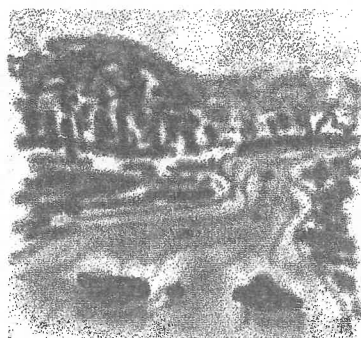
つきなみですが、環境問題は
住民一人一人のことであり(自
分の問題であることの)、意識
の高揚が大事だと思います。

できれば、先に述べた様な
こと(二酸化炭素吸収量の調
査等)を呼びかけて、市民・
行政・企業の”協働”という
理念を活かして、住民(特に
子供たち)の環境意識を広く
底上げする取り組みができれば
おもしろいと思います。

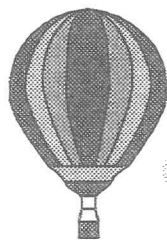
ホームページアドレス

<http://www.Kinkicivil.co.jp/>

e-mail:kkcivil@kinkicivil.co.jp



同社のホームページのカット



あろく吹田の散策シリーズ

第9回 南千里コース いろいろな樹木とホタルの生息地

5月25日

この日もまぶしいくらいの太陽に迎えられ18名が南千里駅を出発。まずは案内の岡村さんからニュータウンの都市計画や発展についてのお話を拝聴、その後千里南公園へ。

千里南公園で印象に残ったのは、ユーカリの大木、それと吹田クワイでした。しかし、吹田クワイの小さな畑では雑草が生い茂っていてどれが吹田クワイなのか素人の私にはわかりにくかったのが残念でした。南千里公園をあとにして阪急の線路にかかる陸橋を渡り（もとは地獄谷と呼ばれる深い谷で、子供の頃に恐ろしい所だったという古老の話も面白かったです。）、いよいよ今回の散策会でメインのヒメボタル生息地であるところの緑地帯へ。

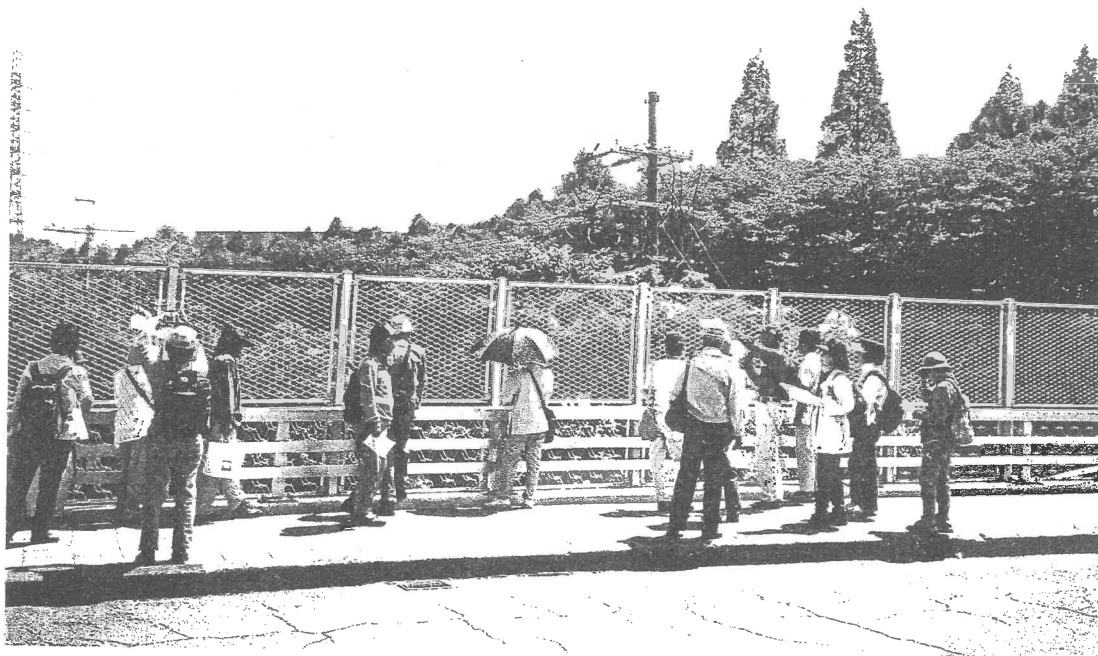
生息地に着いたところで吹田ヒメボタルの会の長坂さんからヒメボタルの話、高町池のソウギョの話、釣り針で羽を痛めて北

へ帰れない可哀想な渡り鳥の話などを伺いました。とても興味深いお話でした。ホタルは田舎に行かなくては絶対見ることができないと思いこんでいたので、案外住宅地に隣接したところでも緑地を守っていけば見ることができるということに感動しました。また、海老池周辺ではホタルのためにこの時期街路灯を消すということも聞き、住民の方々の協力がとても嬉しかったです。

途中、空中に白いふわふわしたものが舞い、道にも綿のようなものが落ちていましたが、それがプラタナスのものであると教えていただきました。その他、ユリノキ、フウ、ミモザ、等々参加するたびにいろいろな木の名前を教えていただくのも嬉しく、次回はどんな木々達に出会えるのか、とても楽しみです。

[間瀬彩月・まちなみ委員]

津雲台5と高野台2をむすぶ
あやめ橋から地獄谷を見渡す



第10回 片山・豊津コース 天井川跡の高さに驚き 6月22日

今回は「あलック吹田」が推薦するコースを逆向きに歩きました。豊津駅前の交番所の前に糸田川改修記念碑があります。天井川だった^{かみ}上の川の洪水には悩まされ、ようやく昭和15年に現在のところに川を掘る改修工事が行われたそうです。この改修で、洪水の記憶は忘れ去られていきますが、最近この上流で川に蓋をして公園にしようと活動する人もいて、時の移ろいは面白いものです。今も府道沿いに上の川跡が残っていて、「へえー、あんな高いところに川があったの」と見上げました。

豊津駅から上の川を300m上った右岸に以前は大きな溜池があって、石垣の上に邸宅



垂水上池公園を見学する参加者

が建つ見栄えのするところでしたが、下水道工事で半分ほどが埋め立てられ、無残になっていました。その後埋め立ての一部が垂水上^{うわいげ}池公園として生まれ変わり、水に触れられる池もあり、メダカやトンボもいて、散策の皆さんも水面を覗き込んで小魚が泳ぐのを目で追っていました。

最後の方で訪ねた平和祈念資料館では終戦後、外地から引き上げた時の苦勞を思い出した参加者もいました。今の平和のありがたさを感じた一時でした。

午後はメイシアターで開催中の吹田市環境教育フェアに自由参加しました。

参加者は31人。今回は吹田市高齢クラブ連合会のハイキング部副部長でもある岡村さんから、「津雲台の歩こう会を活性化してほしい」とハッパをかけられたので、会員方に呼びかけて10名が参加して、大層好評でした。休部になっていた歩こう会も再募集して再出発をという相談が始まりました。これも「あलック吹田」のお陰と喜んでいきます。

〔彦坂利久・まちなみ委員〕

あलック吹田の散策シリーズ

この散策は昨年3月10日の旧山田集落を皮切りにつづけています。毎回20~30人が参加して、たいへん好評です。次が11回目で最終回です。

垂水コース

10月26日(土) 9時30分~正午頃 小雨決行

集合 江坂駅北改札口 解散も江坂駅

江坂駅前は大同生命ビル、江坂公園など近代的な建物が建ち並び、オフィス街、繁華街としてにぎわっています。一方、北部、垂水神社を中心とした地域は、静閑な住宅街を形成しています。

参加費 会員400円、非会員500円

連絡先 松岡 TEL & FAX 06-6384-8168

〔田中・まちなみ委員〕

私たちに何ができるか

生活環境委員会では、このようなシンポジウムを企画しました。ぜひご参加ください。

in 吹田

—地球温暖化防止とエネルギー削減のために—



「地球は温暖化している」もう常識ですね。今年も「異常気象だな」と思いませんか？

地球温暖化の大きな原因はCO₂とNO_xと言われます。地球温暖化を防止しようと世界的な会議がもたれました。それが「COP」です。

COP3は京都でありました。そして昨年マラケシュでのCOP7において、京都議定書に基づく具体的な地球温暖化防止対策が決定されました。国家レベルでの対策です。

一方で、私たちの生活そのものが温暖化を促進させているのが事実です。

私たち市民一人一人が温暖化防止のために、何ができるのか考えてみませんか？そして、事業者や行政とお互いにどうしたらよいか話し合しましょう。

記

シンポジウム 私たちに何ができるか in 吹田

—地球温暖化防止とエネルギー削減のために—

日時 10月27日(日) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

場所 吹田市立女性センター 2F 研修室

資料代 実費 500円

パネリスト ・市民(環境家計簿参加者) ・事業者(商工会議所 & ジャスコ南千里店)
・大阪府環境管理課 ・吹田市 ・すいた市民環境会議 予定

コーディネーター 山田國廣氏(京都精華大教授・すいた市民環境会議顧問)

主催 すいた市民環境会議と地球環境NGOネットワーク関西

後援 経済産業省、環境省、大阪府、吹田市(予定)、吹田商工会議所(予定)
(財)省エネルギーセンター、全国地球温暖化防止活動推進センター

問い合わせ 申込先

NPO法人 すいた市民環境会議 喜田 Tel 06-6330-0305 Fax 06-6330-0376

小田 Tel&Fax 06-6319-0630

Eメール k-kaigi@clubaa.com

地球環境NGOネットワーク関西 (Eneかんさい) Tel 06-6222-3263 Fax 06-6222-3262

省エネはやみつき！「みんながんばってる会」

11月から取り組んできた環境マネジメントですが、皆さんがんばっているだろうな、何か悩み事はないかな、新しいアイデアをおもちではないかな・・・というわけで、5月26日NPO室に本間都さんを迎え「みんながんばってる会」を開催しました。省エネルギーセンターアンバサダー（大使）の門田さんも取材。

右は省エネセンター広報誌「省エネアンバサダー」21号に掲載された記事です。みんながんばってるでしょ。

（財）省エネルギーセンターホームページも見てね。 <http://www.eccj.or.jp/smartlife/>



モニターの協力のもと、すいた市民環境会議生活環境委員会が「暮らしのダイエツトノート」を使って「家庭の環境マネジメント」事業を続けています。この「暮らしのダイエツトノート」は年度変化の数値化が継続的に可能であるため、現状を把握しつつ、環境配慮型ライフスタイルを確立するにはとても便利な「省エネ・環境家計簿」です。

このモニターの中間交流会が、「だれでもできる環境家計簿」の著者本間都さんを迎えて催されました。スタートから6カ月のこの会は、名づけて「みんながんばってる会」。24名中12名の参加でした。この省エネ、節水、ゴミ減らしの取り組みに参加して、「思う存分使っていた水や電気やガスを記録することで意

識が変わった」「数字で記録することで、他と比べてどうなのかが気になるようになった」「団樂が無かった5人家族に会話が生まれた」「劇的な省エネ結果に感動した」など等。ゴミ問題でも話は白熱しました。自分の考えが大きく変わったことや省エネは生活レベルを落とすのではなく「アイデアの勝負」で楽しくやれること、今日は他の人や先生の話を聞いて勉強になったなど、お互いの成功談や発見、困ったことを話したり聞いたり教えあったりすることは、継続に向けてのうれしい力です。



前向きで和気あいあいのこの会に参加して、私も元気を山ほど貰いました。

門田悦子/大阪

すいた環境教育フェア2002年でパネル展示しました

6月22日、メイシアターで開催された「すいた環境教育フェア2002」で、私たちが取り組んでいる環境マネジメント（環境家計簿）のパネル展示をしました。内容は実施計画や「がんばってる会」などの行事、私たちの思い（わが家のダイエツト宣言）、日々の取り組みのようすなどです。地球温暖化防止に向けて、関心が高まっているため、今年はこのテーマの展示が多かったようですが、市民が実際に取り組んでいるということで、身近に感じてもらえました。

パネル前に置いた「省エネルギーチェックシート」では、参加者のみなさんに省エネ認識度を自己チェックして頂きました。チェックしてくれたのは20人足らずでしたが、「よくできている」「まあまあできている」を合わせて平均60%以上。点数を見て気を引き締めたり、省エネ行動を再確認したりと話の輪が広がりました。半数の方ができていないと答えたのは、「就寝時にはテレビの主電源を切る」「エアコンのフィルターはこまめに掃除する」「家族の入浴時間を連続する」でした。

阪口市長も挑戦してくれました。忙しいのに頑張ってるなという点数でしたよ。市庁舎もISO14001、エコ・オフィスプランに取り組んでいます。私たちも市も成果を期待したいものですね。



～ 千里第二小校区「土曜チャレンジデー」の試み ～

横山正和（千里山東）

私たちの活動の母体となったのは2000年春、千里第二小学校の呼びかけに約30講座、100名余の地域・保護者の講師が応じて始まった「チャレンジデー」という土曜日の総合学習の取り組みでした。私たちの多くはそのメンバーだったのですが、昨年5月、学校側から2002年度学校5日制の導入に伴ってその時間帯を平日の授業時間内に移行するとの方針が伝えられたのです。そのミーティングの帰り道に平日仕事を持つ者が何となく声を掛け合って、土曜日にもチャレンジデーを存続させようと意気投合したのがその発端なのです。「子ども達のために!」とだけ気張らずに、子どもをダシに大人も面白がろう!と、気軽に始まったのがこの取り組みの出発点でした。

その後の準備活動の中では、「チャレンジデー担当部会」という一校務分掌の形ではあれ学校の組織参加を得て、「土曜チャレンジデー・千里第二小学校開放施設利用要領」を締結し、共同歩調を取りつつやや遅れて発足した千里第三小校区の「土曜ぐう・ちょき・ぱあ」と共に一中校区地域教育協議会の財政支援を受けるなど、学校・地域との協働を進めていきました。

そして2002年4月20日、オリエンテーションの日。何より心配していた子ども達の参加は220名を数え、予想していた定員をはるかに超えて嬉しい悲鳴をあげるスタートとなりました。さらに講座受講生やスタッフとして100名近くの大人が参加してくれたことも大きな力となりました。

現在、ソフトバレー・バスケットボール

・一輪車・木工・トールペインティング・アニメーション作画・ビオトープ・パソコン・伝承遊びの9講座に分かれて、毎月第1・3土曜日、元気に活動中です。

最後に筆者が担当しているビオトープ講座の紹介ですが、1999年5月、千二小校区東端の新興マンション街に残されたわずかな畑地にビオトープ池をつくるために集まった地域住民の環境教育グループ「ビオトープ山の谷」が母体となって運営しています。環境教育といっても何かを教え込むというのではなく、かつての子どもが知らず知らずに体験していたような身近な自然との触れ合いを、池の生き物たちの観察や田んぼ作りを通して親子一緒に経験してみようというものです。ただ現在は前述したように、それぞれ10㎡くらいの小さな池と田んぼに大人を入れて100名余が群がる混雑ぶりで、きめ細かい活動ができず苦勞しています。が、悩む大人を尻目に活動日以外にも子ども達は網を手に手に三々五々集まってきて、いつも歓声のこだまする地域のおもしろ自然遊び場になりつつあるようです。



ビオトープ山の谷で田んぼづくり

ハシブトガラス（嘴太鳥）

カラス科

ひら 平 軍二(生き物委員会)

カラスは黒く大きな鳥で誰もが知っている鳥の一つであるが、吹田市周辺にいるカラスはハシボソガラスとハシブトガラスの2種（ハシ=嘴）あり、その違いは下表の通りである。



	ハシボソガラス	ハシブトガラス
大きさ(嘴～尾の先まで)	50cm	57cm
翼開長(羽を広げた長さ)	99cm	105cm
体重	0.4～0.7Kg	0.5～1.1Kg
嘴の太さ	細い(ハシブトより)	太い
額の出っ張り	出っばらない	出っばっている
鳴き声	ガァガァ	カーカー
鳴くときの姿	おじぎをする	おじぎをしない
出身地	草原(温帯～寒帯)	森林(熱帯～温帯)

唱歌「夕焼け小焼け」にでてくるカラスはハシボソガラス、昼間は農家近くの田んぼなどで餌をとっているカラスが、夕方になると「ねぐら」のある山に帰っていく光景が歌われている。一方のハシブトガラスはもともと海岸近くの岩山などに住んでいたが、最近東京都など大都市で急激に増えている。

カラスは鳥の中で最も賢い鳥、サギやカラスの繁殖調査をした人から「サギは人を見分けることができないがカラスは人の個体識別ができ、近くで仕事をしている農家の人は無視しているのに、調査をしている自分が行くと襲いかかってくる」との話を聞いたことがある。

吹田市では万博公園西口近くの竹やぶにカラスの秋冬ねぐら（集まって寝る所）があり、秋から冬の夕方になると数千羽のハシブトガラス・ハシボソガラスが集まってくる。カラスは人の出ずゴミの他、ビワ・サクラ・クスノキ・ナンキンハゼなどの木の実や、時には生きた小鳥のヒナなどを餌にしているので、万博公園は職(=餌場)・住(=ねぐら)近接の餌場としてカラスの人气が高く、両種仲良く多数のカラスが住んでいる。その万博公園で最近、ハシブトガラスの観察数が増えているのは、吹田市でハシブトガラスが増加しているためと思われる。

98年ツバメの巣の調査を行った時、カラスがツバメの繁殖・子育てを邪魔するとの情報が多かった。カラスはツバメ以外の小鳥のヒナも襲うので、万博公園などの林で繁殖している小鳥、シジュウカラ・カワラヒワ・メジロなどの子育てに影響していることは間違いない。

東京など大都会でのハシブトガラスの増加原因は、

- ①餌（人の出ずゴミ）が豊富にあること
- ②巣作りできる大きな樹（公園樹・街路樹・庭木）があること
- ③都市公園に「ねぐら」となる林があること

によると思われるが、中でも「ゴミの後始末の悪い」ことが主因であろう。

吹田市でもカラス被害が増加しているようであるが、利口なカラスとの知恵比べの正解はただ一つ「ゴミ対策」如何にかかっている。 (02.6.20)

2002年7月22日現在の会員数 正会員(個人131人・団体0・法人4社)

購読会員(110人) 賛助会員(0人)

★封筒の宛先ラベルの下段に入金済みの年度を記入していますのでご確認ください。

★2002年度会費未納の方は入金をお願いします。

★会員の種類、会費金額、郵便振込先は表紙の題字下に掲載しています。

★封筒の宛名ラベルの下段に入金済みの年度を記入していますのでご確認ください。

・02年度 ⇒

既に2002年度の会費を入金済みです。

・02、03年度 ⇒

既に翌年の会費も入金済みです。

・02～04年度 ⇒

既に翌年の会費も入金済みです。

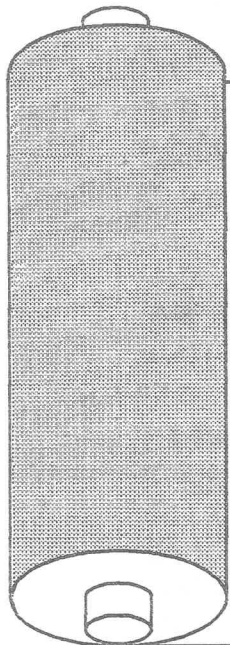
・01年度 ⇒ 2002年度の会費が未納ですので入金をお願い致します。(6月末現在)

・00年度 ⇒ 前年度の会費も含め2年分の入金をお願い致します。(6月末現在)

★会費についてのお問い合わせ、会員の種類変更などは

会計 橋口TEL 06-6872-0208(夜間のみ)、
FAX 06-6872-0208(終日受信)まで。

【お詫び】4月以降の入金者リストは人数が多くてまとめきれませんでした。次号に掲載しますのでご了承をお願いします。



東淀川区に住んでいた
会員からの便りです。

当方、昨年リストラになり、広島へ帰省いたしました。
在阪中は大変お世話になり、ありがとうございました。

広島に帰ってからは広島市役所環境企画課主催の環境サポーター養成講座、広島市計画局都市デザイン課開催の水の都フォーラム、広島市東区まちづくり推進課開催の二葉の里歴史の散策道ブラッシュアップ研究協議会などに参加し、頑張っております。

すいた市民環境会議のみなさまの今後のご活躍を願っています。

本号は8月10日までに配達を完了する予定です。遅配された場合は古谷(☎06-6387-2139)まで連絡をいただくようお願いいたします。前号25号(吹田操車場跡地の貨物駅に関して意見を掲載)は5月10日頃に配達しましたが、届いてない方も連絡をお願いします。

編集後記 前号から印刷機が替わって、写真に縞模様ができました。デジタル化されて相性が合わないことが原因だそうです。今号から再生紙を使うことにしました。着色した紙が再生紙です。

次号の原稿締切りは9月20日、お届け予定は11月7日頃です。